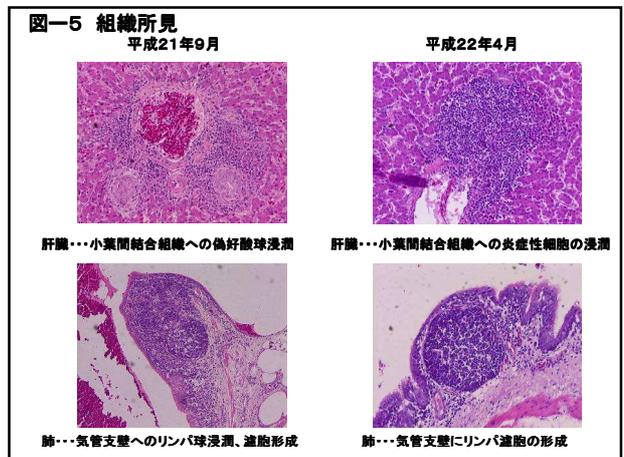
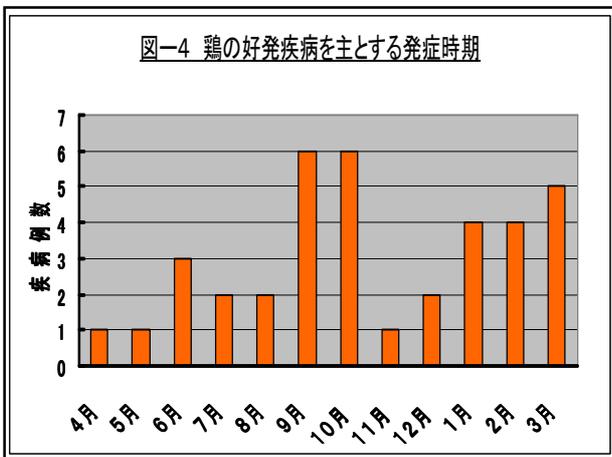
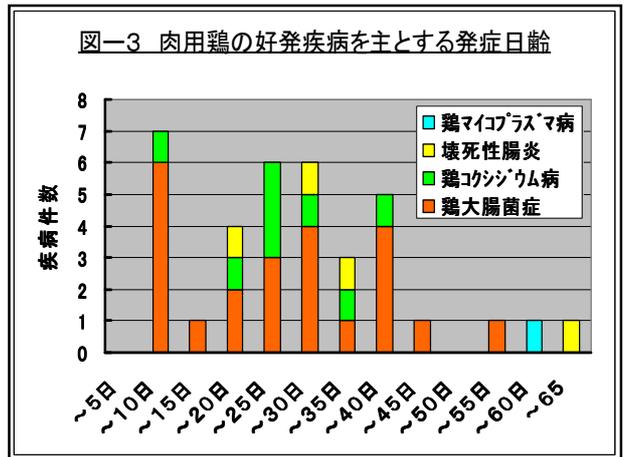


表-1 鶏疾病の用途別・疾病別割合

●肉用鶏	79.7	(単位:%)
●採卵鶏	20.3	
① 鶏大腸菌症	32.4	
② 鶏コクシジウム病	14.9	
③ 鶏伝染性気管支炎	10.8	
④ 壊死性腸炎	5.4	
⑤ 鶏マイコプラズマ病	4.1	
⑥ 鶏ブドウ球菌症	4.1	
上記疾病の混合感染率	21.1	



表一2 養鶏農場の発症状況 (H17～H21)

- 鶏の病性鑑定依頼農場戸数 27戸
- 好発上位疾病農場戸数 20戸 (74%)
- 年度内または毎年同じ時期
に繰り返した農場戸数 7戸 (35%)

表一3 病性鑑定後の助言・指導体制の強化

病性鑑定課として

- ① 助言・指導内容について、窓口課との検討協議
- ② 窓口課と同行して、農場への助言・指導
- ③ 当該農場の飼養管理・衛生管理の把握
- ④ 必要に応じて、追加検査の実施と改善の確認

表一4 好発疾病を繰り返した養鶏農場の実態

- 換 気 : 気流が限局し、空気が滞むスペースがある
鶏舎隙間が多く、空気の流れができていない
- 温湿度 : 換気状態が悪く、温度・湿度が高い
- 消 毒 : 消毒方法が一定していない
- その他 : 密飼の状態、鶏舎床の管理不備

表一5 好発疾病を繰り返した養鶏農場の改善指導

- 換 気 : 鶏舎間隙を改修し、空気の流れを作る
空気が滞む箇所は扇風機等に対応する
- 温湿度 : 鶏舎内に温湿度計を設置して管理
- 消 毒 : 石灰・オルソ剤・逆性石けん等による定期消毒
- その他 : 適正な坪羽数飼養
鶏舎床オガコの部分的な入替管理